

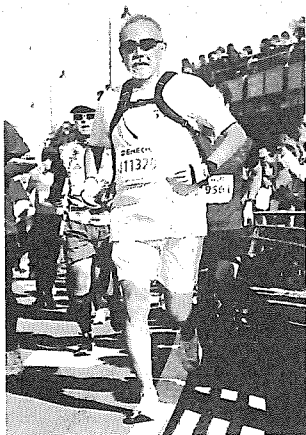
私のイキ押し

1級建築事務所「カヌカデザイン」

鹿糠嘉津博社長

34歳のときに、初めて三浦国際市民マラソンに出場し、制限時間内で完走しました。今年で連続27回目の出場になりました。美しい海岸線の三浦海岸や田園風景などの風光明媚な景色を眺めながら走るの、いい刺激になっています。

31歳で会社を設立後、仕事に悩み、行き詰まっていた時期がありました。責任が重い一方で、難しい交渉を迫られることや設計料が安い案件が多いなど、苦悩の連続でした。そうした中、幼い頃から走ることが好きだったこともあり、ランニングを始めました。新しい取り組みを



横浜マラソンで完走したカヌカデザイン社長の鹿糠嘉津博さん

自分の限界超えることに挑戦

マラソン

通じて、自分の限界を超えることに挑戦してみたかったです。

以来、横浜マラソンを3回完走しました。39歳の頃には、横浜市から青森県まで約750キロを3日間かけて、自転車移動。一昨年の10月に3つのマラソンに出場し、1カ月間で計約1000キロを完走しました。走っている中で、つらい思いもしました。ですが、全て一時のつらさであり、走り終われば、次の新しいスタートが待っています。仕事も同じだと思ふようになりました。今年で61歳。仕事では大きなプロジェクトもあり、これからは健康第一で走り続けたいです。

【メモ】昭和34年生まれの60歳。工学院大学工学部を卒業後、堀江建築工学研究所に入社。平成2年から現職。同20年以降には、擁壁の施工方法などで特許を複数取得している。座右の銘は「金のなる木」。「出雲大社で知った言葉。ここでいう金は、金銭的な豊かさではなく、『本当の幸せ』の意味。人を愛する正直な気持ちを持つ者が幸福になるという教えを大切にしている」という。

同僚 川崎 首に自 巻いて として 消防士 の懲戒 消防 に所属 昨年10 材点検 を車内 もに巻 加圧 僚は間